

熱中症予防調査に取り組んで 行政や地域のつながり強め被害を防ごう

今回の記事は、調査にあたった方にお聞きして編集部でまとめました

生きる力と
向きあつて
現場通信 23



測定器を持つ藪田課長

私たちは民医連の近畿地方協議会の呼びかけのもと、この7、8月、熱中症予防調査に取り組みました。熱中症が心配される91名の在宅患者様が対象です。吉田病院と各診療所の職員が訪問し、「湿球黒球温度測定器」を使ってWBGT指数(湿度、輻射熱、気温による熱中症の指標)を計測しました。熱中症を発生しやすい人は、高齢者、高血圧や糖尿病など基礎疾患を持つ人などと考えられます。ある調査では住宅内での発症が全体の4割(その32%は「寝室・就寝中」)で、年齢では65歳以上が7割を超え、危険が見えにくい実態があります。高齢者は暑さや喉の渇

きを感じにくく、体温調節の機能も低下し、体温が上がりがやしいといえます。こまめな水分補給や適切な冷房、それを支える見守りが必要で、訪問者の報告から紹介します。

●経済的理由で、クーラーの取り付け困難。冷たいタオルを巻くなど自分なりに対応されている。(ヘルパー)

●独居で物忘れもあり、室温調整が困難。意識しての水分摂取ができず、ヘルパーの朝夕訪問時に室内の環境調整や水分摂取の声かけが必要な方。今回、体温が高く受診誘導し、一時入院となった。訪問をきっかけに早い対応が出来た。(ヘルパー)

●発汗があるも、本人は暑いと自覚されていない。エアコンの使用を促す。独居の方は室内で倒れている危険もあり、見回り(巡回)が必要だと思つた。(訪問看護)

●認知症があり調理や服薬管理で毎日訪問している。ヘルパーが工

一人ひとりの生活には個性があります。熱中症を防ぐ見守りや緊急時の対応には、自治会や民生委員さん、介護関係者など社会全体で見守る対策が必要と言われますが、そのとおりだと思えます。

アコンをつけても帰るとコンセントを抜いてしまわれる。毎日気をつけているが、不安です。(ヘルパー)

●部屋を閉めきって扇風機のみ、水分摂取は1.5ℓ/日。精神疾患の方もかなり熱中症のリスクが高い。(訪問看護)

吉田病院ホームヘルプステーションの藪田幸子課長に聞きました——

自治会や民生委員さんの見守りもあり、地域のつながりの大切さを痛感します。私たちも、訪問時に「ゴミを出す時には、ご近所にあいさつを心がけてきました。困るのは今年4月の介護報酬改定で、援助内容と時間が厳しく制約されたのです。政治の責任は重入です。

この夏、訪問看護ステーションほおすきの提案で、ご本人の水分摂取量や便の状態が一目でわかるカードを作りました。訪問看護とヘルパーが日々やりとりをし、カードの仕様も改善を重ねています。利用者さんのためのお話を進めやすく充実感があります。

まちがいさがし

10名の方に

正解者の中から図書カード(500円)を進呈



まちがいは7つ



下の絵は上と7カ所のまちがいがあります。どこでしょう。

(印刷のよごれやかすれ、スクリーントーンの濃淡はまちがいはありません)

せ下さい(解答はイラストを切り取って、ハガキに貼ってお送り下さい)。

*なおハガキの余白に解答と合わせて今号の感想やご意見、近況などをお書き添え下さい。ごとしご応募お待ちしております。

《前回の当選者》

寺田 隆幸(三郷町)
杉本 光子(生駒市)
藤川 康典(中町)
川口 耕一(中山町)
浅田 笑子(鳥見町)
山崎 友梨(西大寺町)
奥野 綾子(大和郡山市)
吉田 芳子(京寺岡 知子(西大寺)丘
長谷川 博(生駒市)

《前回の解答》

も、未申請の方が多数おられることに驚きました。国は7月末といわず、最期の1人まで受け付け救済すべきです。

三郷町 西川 規矩子
中町 谷口 博司
大和郡山市 山本 純子
山崎 友梨(西大寺町)
奥野 綾子(大和郡山市)
吉田 芳子(京寺岡 知子(西大寺)丘
長谷川 博(生駒市)

《読者の声》

病院とは縁も切れずにご厄介になっております。毎月毎月新館がきれいになっていくのが楽しみです。

若葉台 辻村 美代子
秋篠町 小柴 全代

精神科医療への取り組みを読ませていただき、高齢者は心強く感じます。

学園朝日町 徳田 喜一
生駒市 船越 郁

生きる力と向きあつて。いまだに水俣病で苦しみながら

大飯原発再稼働に怒り心頭です。原発を動かさなくても夏の電力が足りたら困ると思つているのが電力会社なのではないか。みんなが節電したらもうけが減るし……

生駒市 船越 郁

今年も七夕様の時季が来ましたネ。今年は何をお願いしようかなーやっぱり健康でしようか。

大和郡山市 山本 純子
山崎 友梨(西大寺町)
奥野 綾子(大和郡山市)
吉田 芳子(京寺岡 知子(西大寺)丘
長谷川 博(生駒市)

介護4から2に下がりが、元気に毎日が送れ、感謝の日々です。今号のまちがいがさしても大丈夫です。まだ見つける力が残っているのがうれしかったです。(妻が代筆)

中町 谷口 博司

「9月オープン新病棟探検隊がゆく」を興味深く読ませていただきました。高齢の私共が心の病を持つ子をどうフォローしたらいいのかわからずいましたが、先生、相談員等の様々の方の手を借り、一日一日を過ごしております。どうかよろしくお願致します。

生駒市 篠崎 歌子

夏の生活が快適です。

帝塚山 清水 和子
夏休み「一日医師体験」いいですね。一人でも多くの若者が、社会の役に立つ立派な医師になることができるといいですね。お祈りしています。

斑鳩町 遠藤 真琴

原発の脅威。事故が起きたら人間がコントロールできないものを使って、私たちに強制する電力会社と政府(国)。世界初めてのメルトダウン(燃料棒溶解)福島県の爆発原因がわからないまま、福井県大飯原発の再稼働。命を無視した再稼働反対です。

大和郡山市 中川 勝太郎